

第3章 新たな時代に向けた都市公園等の整備・管理に関する基本的な考え

1 都市公園等の理念と目標像

(1) 都市公園等の理念

「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会 最終報告書（平成 28 年（2016 年）、国土交通省）」や平成 29 年（2017 年）の都市公園法の改正等の社会潮流を踏まえ、新たな時代に向けた都市公園等の整備・管理を進めていくにあたり、吹田市における都市公園等の理念を次のとおり掲げます。

< 都市公園等の理念 >

「公園からまちに笑顔をひろげるみどりの都市 すいた」

だれもが安心してすこやかで快適に暮らし続けられるまちをめざし、
安全・安心・快適な都市公園等の利用に供するとともに、
都市公園等が持つ多様な機能を最大限に発揮させることにより、
都市が抱える諸課題の解決に寄与し、もって公共の福祉の増進を図る

(2) 都市公園等の目標像

新たな時代に向けた都市公園等の理念を踏まえ、吹田市が管理運営する都市公園等の目標像を次のとおり設定します。

① 緑豊かでうるおいのある都市生活を実現する都市公園等

これまで都市公園等は、うるおいのある生活環境や良好な都市環境の形成に寄与してきました。今後、市域の都市公園等の配置・充足状況を踏まえた整備方針に基づき、都市の中で気軽に緑と水にふれあうことのできる都市公園等を計画的に整備・再編すること等により、そのポテンシャルをより一層発揮することで、緑豊かでうるおいのある都市生活を実現する都市公園等を目指します。

② 個性と活力のある都市づくりを実現する都市公園等

これまで都市公園等は、観光振興や地域のにぎわいの拠点等として、地域の伝統文化や歴史を継承し、地域の活性化等に寄与してきました。全国各地域で住みよい環境を確保し、活力ある日本社会を維持する地方創生の推進が必要とされている中、健康・医療のまちづくりに資する都市公園や、子育てしやすいまちづくりに資する都市公園など、吹田市が抱える課題に弾力的に対応した個性豊かな都市公園等の整備・管理により、その多機能性を一層発揮することで、都市魅力の向上、市民が健康で元気に幸せに暮らせる都市づくりなど、個性と活力のある都市づくりを実現する都市公園等を目指します。

③ つながりを実感できる暮らしを実現する都市公園等

これまで都市公園等は、地域の祭り・イベントの開催場所、愛護・ボランティア活動の場といった市民の交流の場としての役割を果たしてきました。地域コミュニティの希薄化が課題となる中、地域住民の交流を促進する施設の設置・運営や、若い世代が主体となった都市公園等の管理運営の推進等により、そのポテンシャルを一層引き出し、人と人とのつながりを実感できる暮らしを実現する都市公園等を目指します。

④美しく風格ある都市を形成する都市公園等

これまで緑豊かな歴史ある都市公園等や適正に管理された樹木等で構成された美しい都市公園等の景観は、吹田市の歴史や文化の象徴として風格ある都市の形成に寄与してきました。都市の格式・ブランドの向上等による都市間競争力・協調力の強化が必要とされている中、民間事業者等との連携による吹田市の顔となる都市公園の再整備・管理運営、吹田市のブランドを形成する都市公園を核とした美しい景観の形成等により、その機能をより一層発揮することで、美しく風格ある都市を形成する都市公園等を目指します。

⑤災害に対してレジリエントな都市を形成する都市公園等

都市公園等は、基本的に建築物によって建ぺいされない公共空間としての基本的性格から、災害時には火災の延焼防止、市民の避難地・避難路、自衛隊が活動する防災拠点等として機能します。また、平常時には雨水を浸透・貯留するなど、従来のインフラを代替・補足するグリーンインフラとして機能します。都市計画と呼応した戦略的なグリーンインフラの整備・活用や地域防災計画に基づく防災施設の整備等により、都市における防災・減災拠点としてのポテンシャルを一層引き出し、災害に対してレジリエントな都市を形成する都市公園等を目指します。

⑥生き物や環境と共生する都市を形成する都市公園等

都市公園等は、都市の中にある貴重なみどり空間として、動植物の生息・生育の場所であるだけでなく、大気浄化や騒音低減といった環境保全効果、ヒートアイランド現象の緩和効果等により、市民の快適で健康な暮らしを支える役割を持っています。また、千里緑地では、ヒメボタルが生息し、吹田市の天然記念物に指定されるなど、市民が自然と触れ合える空間ともなっています。今後、地球温暖化による気温の上昇や、巨大台風等の気象災害の発生による環境影響への適応や、地球規模で進行する生物多様性の危機への対応が課題となる中、都市公園等の良好な自然環境を保全・活用することにより、生き物や環境と共生する都市を形成する都市公園等を目指します。

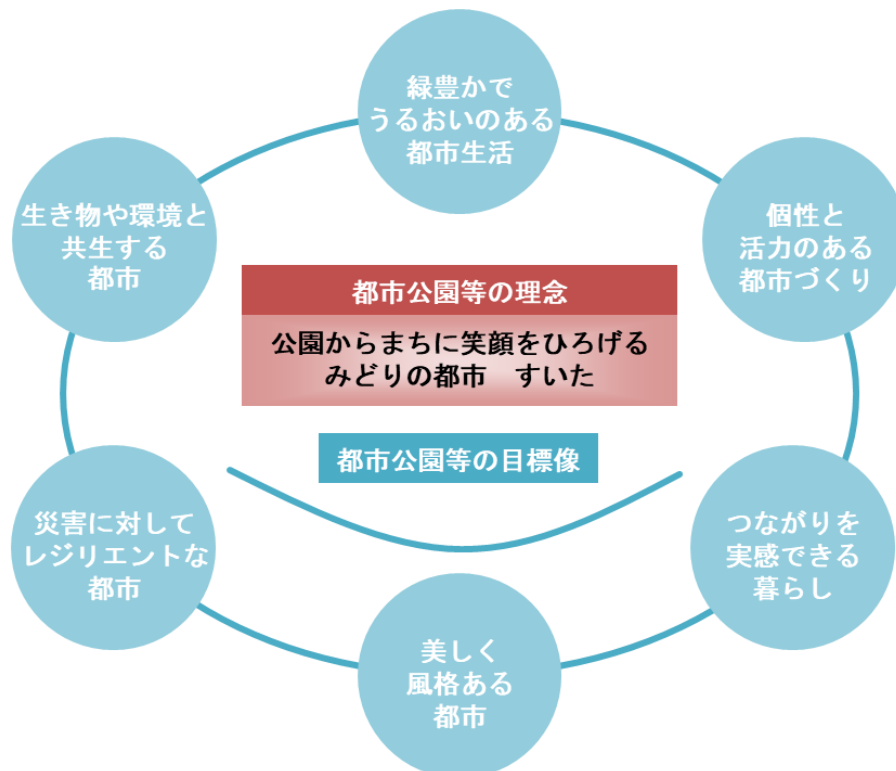


図 3.1.1 都市公園等の理念と目標像

2 都市公園等政策の方向性

(1) 新たな時代に向けた都市公園等政策

<都市公園等を取り巻く状況>

●都市公園等の現況

吹田市では、昭和30年代の千里ニュータウン建設と日本万国博覧会開催の関連基盤整備に象徴される高度経済成長期以降、都市公園の整備を強力に促進してきました。現在では、吹田市には、大阪府が管理運営する万博公園と服部緑地を含め、135箇所、326.34ha、8.8㎡/人の都市公園ストックが蓄積し、**府内の自治体の中でトップクラスの整備水準**となっています。この結果、都市公園等がもたらす豊かなみどり環境は、**吹田市のブランドの一つ**となっています。

●都市公園等の課題

一方、市全域の市街化がほぼ完了する中での新規整備、様々なニーズとまちづくりに対応するための再整備、公園施設の管理水準の向上と計画的な長寿化・更新、厳しい財政・人員制約への対応、小規模な都市公園の有効活用、柔軟な利用に対する要望と利用マナーに対する苦情への対応など、**多様な課題にも直面**しています。

●市による都市公園等の先進取組

近年市では、これらの課題に対応するとともに、都市公園等の価値を一層向上させるため、健都レールサイド公園の整備、千里南公園へのカフェレストランの誘致、高野公園における国家戦略特区制度の活用、「樹木健全度緊急調査」の実施と「道路・公園樹木適正管理指針」の策定等の**先進的な取組**を進めてきました。

●都市公園等を取り巻く社会潮流

全国においても、吹田市と同様の課題に直面する中、平成28年（2016年）に国から「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会 最終報告書」が示され、**国レベルで都市公園等政策の転換**が図られました。この中で、**都市公園等政策は、都市公園等の多機能性の再認識と都市の特性に応じた発揮に向けた新たなステージへ移行すべき**とされ、平成29年（2017年）には、都市公園法等の改正が行われました。



<新たな時代に向けた都市公園等政策>

社会が成熟化し、市民の価値観も多様化する中、市全域の市街化がほぼ完了し、都市基盤も一定整備された新たな時代において、吹田市の都市公園等政策は、掲げた理念のもと目標像の実現に向け、**都市公園等が持つ多機能性を市民と都市のために発揮すべく、そのポテンシャルを最大限発揮させるための政策へ移行**します。

(2)新たな時代の都市公園等政策において重視する視点

吹田市が管理運営する都市公園等の目標像の実現に向け、今後の都市公園等政策では、次の3つの視点を重視します。

①都市公園等ストックの活用

都市公園等ストックが一定蓄積した状況下では、これらの機能を発揮することによって得られる効果を高め、都市公園等が、社会状況や地域ニーズ等に柔軟に対応した空間・サービスを提供し続けることが必要です。このため、これまで行ってきた都市公園の維持管理の延長ではなく、総合的なまちづくりの一環として、個々の都市公園等の特性に応じたマネジメントを実施するなど、都市全体の中で都市公園等ストックを活用することが重要です。

また、都市公園は、多面的な機能を有する空間であり、個々の都市公園毎の個性に応じたポテンシャルを最大限発揮するため、民間活力の導入ポテンシャルが高い主要な都市公園は、様々な施設の導入やイベントの誘致等を積極的に行ってその収益を管理運営に還元する、地域コミュニティ形成拠点としてのポテンシャルが高い身近な都市公園等は、市民参画・協働による主体的な管理運営に委ねる、多様な動植物の生息・生育空間としてのポテンシャルが高い都市公園は、自然環境を保全するための適切な利用制限・管理行為を行うなど、都市公園を一層柔軟に使いこなすことが必要です。

<これまで>

- 都市公園等の整備促進
- 都市公園等の中だけでの多機能性発揮
- 硬直的な利用

<これから>

- 都市公園等の管理・活用
- 都市全体での多機能性発揮
- 地域の合意に基づく弾力的な利用

②都市公園等経営の持続可能性確保

都市公園等ストックの老朽化が急速に進行する中、これらを効果的かつ効率的に管理する必要があります。また、安全・安心・快適な都市公園等環境を保つだけでなく、これらの機能を発揮することによって得られる効果を高める取組が重要です。今後、財政・人員制約が深刻化する中では、都市公園等の計画的な整備、社会状況や地域ニーズ等に応じた都市公園等の配置・規模・機能の再編、公園施設の効果的かつ効率的な管理、健全な都市公園等経営に必要な十分な財源の確保等を進め、都市公園等経営の持続可能性を確保することが必要です。

<これまで>

- 都市公園法の配置標準に基づく配置
- 画一的な公園施設の設置・更新
- 充実した経営体制

<これから>

- 吹田市の実情に応じた配置
- 機能効果的な公園施設の設置・更新
- 一層効率的かつ機動的な経営体制

③多様なパートナーとの連携強化

これまで吹田市では、都市公園等の整備・管理運営は主に市が行ってきました。一方、全国の自治体に目を向けると、指定管理者制度やPFI制度を活用した、民間事業者等との連携による整備・管理運営も進められています。今後、一層効率的な行財政運営と、新たな都市の課題への対応が必要とされる中では、民間活力と市民力を最大限発揮し、幅広い関係者の総力を結集して、都市公園等の再整備・管理運営を行うことで、効果的かつ効率的に都市魅力を向上させていくことが必要です。このため、都市公園等の整備といった行政が自ら行うべきことを引き続き着実に推進するとともに、都市公園等の再整備・管理運営のパートナーを民間事業者、地域、ボランティア団体等に積極的に求めていきます。

